

平成30年度 第2回 川口市総合教育会議会議録

1 日 時 平成31年3月11日(月) 午前11時00分から12時00分まで

2 場 所 本庁舎 第3会議室

3 出席者(構成員6名)

(市長)		奥ノ木 信夫
(教育委員会) 教 育 長		茂呂 修平
	委 員	齋藤 卓
	委 員	宿谷 岩男
	委 員	中田 裕之
	委 員	菅原 京子

(構成員以外)

○市長部局

(市長室長)	清水 竹敏	(子ども部長)	福田 亨
(政策審議員)	松本 敦	(子ども総務課長)	根岸 延好

○教育局

(生涯学習部長)	古澤 貢	(学校教育部長)	山田 浩一
(教育総務課長)	間中 浩之	(庶務課長)	石田 英樹
(学務課長)	森田 吉信	(指導課長)	岩田 直代
(学校保健課長)	内田 大輔	(学務課主幹)	高宮 明洋
(指導課指導係長)	大場 真		

○事務局

(教育総務課長)	間中 浩之	(学務課副主幹)	中野 直之
(教育総務課庶務係長)	栗原 栄	(指導課副主幹)	上倉 義郎
(教育総務課庶務係主査)	森住 まどか	(学校保健課副主幹)	阿部 雄太
(教育総務課庶務係主査)	菅井 学		

4 議 題

- (1) 開 会
- (2) 挨 拶
- (3) 議 事

ア 平成30年度 第1回 川口市総合教育会議の会議録について

イ 川口市立芝西中学校陽春分校（夜間中学）の開設準備状況及び次年度以降の計画について

(4) 閉 会

5 議事の要旨

【開会】

事務局（教育総務課長）

皆様、こんにちは。

本日は、お忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今より、平成30年度 第2回川口市総合教育会議を開会させていただきます。

私は、事務局を努めさせていただきます、教育総務課長の間中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

委員

了承

【傍聴者入室】

事務局（教育総務課長）

それでは、本日お配りしております次第に基づき、進めさせていただきます。始めに、奥ノ木市長から、ご挨拶をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

【挨拶】

奥ノ木市長

おはようございます。本日は、公私ともお忙しい中、本年度第2回川口市総合教育会議にご参集賜り、ありがとうございます。

平成30年度は、川口市が中核市になり、新校をはじめ、3大プロジェクトが開花し始めたという年度でした。3大プロジェクトの中で一番早く完成するのが、新校でありまして、グラウンドの改修などを含めて平成33年度くらいには終わるのではないのかなという見通しです。イイナパークと新庁舎の建設については、完成までもう少し時間がかかりそうですが、全てが順調に進んでいるのが現状でございます。

そして、その他の明るい話題と言いますと、川口市が「住みたいまちランキング」4位に入ったというものがありません。

さらに、先日実施された川口市立高等学校の入試において、理数科の倍率が2.05倍、普通科の倍率が1.51倍と、昨年同様に非常に人気があり、多くの方から「うちの孫に」「うちの子どもにぜひ行かせたい」というお話を直接聞くようになりました。

今日は夜間中学について、意見交換をしていきたいと思っております。この間、施設を見学さ

せていただきましたが、暫定的に使用する校舎とはいえ、すごく立派で申し分のないところでありました。ただ、ひとつ心配だったのが、暫定的な利用のためエレベーターを設置することは難しいのですが、校舎の2階まで生徒が行くとのことで、生徒には高齢の方がいるので、エレベーターの無い校舎なので、その方達が階段で昇り降りするのがちょっと気にかかっております。これから建設を予定している新校舎には、エレベーターは設置する予定なのでしょうか。教室やその他の場所は、すごく素敵な学びの場になろうかと思えます。教育委員の先生方にもご覧になっていただいて、ご指導いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

【議事】

事務局（教育総務課長）

どうもありがとうございました。

次に、大きな3議事、に移らせていただきます。議事進行につきましては、奥ノ木市長にお願いしたいと存じます。

議長（奥ノ木市長）

それでは、これより私が議事の進行を務めさせていただきます。

はじめに、議事の（1）平成30年度 第1回川口市総合教育会議の会議録について、でございますが、第1回会議録については、事前に事務局より配付させて頂いておりますが、この内容について、修正等のご意見はございませんか。

【「異議なし」、の声】

議長（奥ノ木市長）

異議なし、とのお声を頂きましたので、平成30年度 第1回会議録については、お手元のとおりにさせていただきます。

なお、会議録の署名人については、川口市総合教育会議運営要綱第10条第2項の規定により、私から2名の方を指名させていただきます。それでは、第3回会議録の署名人については、齋藤委員と、菅原委員のお二人にお願いいたします。

続きまして、議事の（2）川口市立芝西中学校陽春分校（夜間中学）の開設準備状況及び次年度以降の計画について、お話をしていきたいと思えます。

それでは始めに、教育委員会より説明をお願いします。

学務課長

これから、この4月より本市に開設される芝西中学校陽春分校に関しまして、これまで進めてまいりました開設準備と開校以降の計画について御説明いたします。

平成28年12月にいわゆる「教育機会確保法」が成立したことを受け、奥ノ木市長が

全国に先駆けて夜間中学の設置をご英断されました。そのことを受け、教育局では、本市における夜間中学のコンセプトにつきまして、ご覧のような2本の柱を掲げ、進めてまいりました。

はじめに、今年度実施いたしました、市民説明会及び入学説明会について報告いたします。

平成30年5月19日（土）川口総合文化センターリリアにおいて「夜間中学とはどんな学校なのか」を周知するため、川口市民を対象とした説明会を実施いたしました。また、5月の市民説明会に続き、入学希望者等を対象とした「入学説明会」を県内3ヶ所で実施いたしました。主な内容は、教育課程や具体的な入学手続の方法等に関する説明と個別の質問への対応をいたしました。来場者は、3会場で合計350名ほどあり、市民説明会以降の周知活動による一定の成果が出たものと受け止めております。

また、8月7日（火）の川口総合文化センターリリアでの当日受付を皮切りに、8月20日から第1期の入学受付を開始いたしました。

各会場では、説明会終了後に、その場で申し込みをする方もおり、説明会を通して着実に希望者が伸びてまいりました。

続いて、入学予定者の状況について説明をいたします。先日2月28日（木）をもちまして第2期の受付を締め切らせていただきました。次に提示いたします人数が最新の人数となり、ほぼ新年度入学予定者の確定値となります。

平成31年3月1日現在、入学予定者の人数は、合計で80人でございます。

具体的な内訳を見ていきますと、男女別では男性が27人、女性が53人となっており、約66%が女性となっております。次に、居住地別の内訳では、市内の方42人、市外の方が17市町から38人となっております。さらに、国籍別を見ますと、日本国籍の方が36人、外国籍の方が12か国より44人となっており、55%が外国籍という状況でございます。

こちらは、年代別の表となっております。10代・20代の若い世代の人数が多く、外国籍の方も多くなっています。入学予定者の傾向といたしましては、高校への進学や資格の取得などを考えている方や学習を通して日本語を学ぶと同時に日本の教育を体験したいという方が多くおります。また、日本人の方の傾向といたしましては、不登校を経験し、十分に学習ができなかったことによる学び直しを希望されている方が多い状況でございます。

次に、教育課程について説明させていただきます。

先ほども申し上げましたとおり、夜間中学には多様な生徒が入学してくることを踏まえこのような授業時数で計画を進めております。表をご覧ください。

授業は1日4コマ、週5日間行い、週当たり20コマの授業を行います。年間の週数を小中学校と同様に35週と想定いたしますと、①にあるように年間700時間程となります。

次に、②をご覧ください。その中で、学習の基礎となる国語と数学の時間数を多く設定

し、週当たり4時間、年間で120時間といたしました。

続いて、③をご覧ください。美術・技術・家庭科・総合的な学習の時間については、作品の製作など時間を要する内容を取り扱うことから、B週課として短期間で集中的に取り組むことができるよう計画いたしました。

その他、生徒の実情に合わせて、日本語の支援や小学校段階の内容等についても実施する予定でございます。

こちらの表は週時程を表したものになります。

生徒は、17時25分までに登校し、17時30分から1時間目が始まります。2校時終了後、18時55分から軽食・休憩の時間となり、生徒はここで食事を取ることができます。その後3・4校時を終え、簡単に清掃を行い、20時50分に下校となります。

また、生徒の状況により、授業開始前の時間に個別に学習の支援を行うなど柔軟に対応してまいります。

次に、教職員配置について、説明いたします。

陽春分校の教職員配置につきましては、標準法に基づき、生徒数から学級編制を行い、学級数に応じた教職員が県費負担教職員として配置されます。

現在、生徒数が80名となっておりますので、第1学年に50名程度で2学級、第3学年に残りの30名程度で1学級を構成し、合計で3学級とする計画でございます。

中学校の教育課程をしっかりと学んでいただくためには1年生からの在籍が原則ではありますが、面接を通して確認したところ、陽春分校の生徒の状況から、様々な学習履歴の方がいることに加え、高校進学やその後の進路を考えている方など様々な事情を抱えている方がいることから、1年生と3年生を設定いたしました。

3学級想定 of 教職員の内訳といたしましては、校長は本校である芝西中学校の校長が兼務し、教頭が分校加配で1名、教員は8名となります。

外国籍の方も多くいることから日本語加配がある場合は9名となります。その他、教科担当の非常勤講師が3～6名の見込みですが、現在のところ数が未定のため、表の中は空欄となっております。

さらに、養護教諭につきましては、分校のため県費負担では配置がありません。しかしながら、高齢の方や健康状態に不安がある方などがおりますことから、必要性が高いと考え、市費で非常勤職員として陽春分校に1名を配置する予定でございます。

次に、本市の夜間中学で実施する他市町村からの生徒受入れに伴う教育負担金に関して説明いたします。

まず、応分負担は、県内在住の他市町村から生徒を受け入れるに当たり、負担金をお支払いいただくという仕組みでございます。

負担金としていただく項目といたしましては、地方交付税で措置されていない項目のうち役務費及び人件費を設定いたしました。金額にしておよそ700万円程度となります。この経費の総額を在籍生徒数で按分し、当該市町村から負担金を徴収することとなります。

次に、陽春分校での給食について、説明いたします。

学校給食法では、義務教育諸学校における給食の実施は努力義務になっており、それを受けて本市の学校給食条例では、給食を提供するという規定となっております。夜間中学は「義務教育扱いの学校」でありますことから、給食を実施することになります。

学校給食法施行規則には、給食の種類が「完全給食」「補食給食」「ミルク給食」の3種類が規定されております。陽春分校に通う生徒の実態として、10代から80代まで年齢層も幅広く、国籍も12カ国と多様であることや宗教なども異なる状況の中で、完全給食の実施は課題が多いことから「ミルク給食」を実施することとなりました。

続きまして、年度当初の日程及び開校記念式典について説明いたします。

4月当初の日程につきましては、小中学校の管理規則では4月8日が始業式となっておりますが、新設される学校と同様、学校としての諸準備や夜間中学での授業を初めて行う教職員の研修等、生徒受入れのための準備期間として、4月第2週を臨時休業とし、4月15日が初登校日となります。初日には、学年・学級の発表や教科書、学生証の配付の他、翌日の始業式・入学式に向けた準備等を行う予定でございます。

翌16日（火）に始業式、入学式を執り行い、学校としての運営が本格的にスタートいたします。

翌週23日（火）には、ご来賓の皆様をお招きして夜間中学の発展を願い開校記念式典を挙行いたします。式典開始は、18時を予定しており、おおよそ45分間の予定でございます。会場は、芝西中学校陽春分校、旧県陽高校の陽春会館3階の多目的ホールとなります。

最後に、これまでの他の自治体からの問い合わせについてでございます。

文部科学省においても、本市の取組が、新設される夜間中学の先行事例として紹介されるなどしており、全国各地から問い合わせや視察がございました。

問い合わせの主な内容といたしましては、ニーズ調査や夜間中学開設までの経緯、設置に向けた準備の進め方など様々でございます。教育機会確保法制定後、文部科学省は各都道府県に最低ひとつは夜間中学の設置を打ち出している中、各自治体も設置に向けた動きが活発になってきております。次年度以降につきましても、こうした状態が継続するものと推察されます。

終わりに、平成33年3月末まで使用予定の陽春分校の校舎を簡単にご紹介いたします。

こちらが、会館となっております。次に、こちらがエントランスホールとなっております。上履きはございません。外履きのまま生活するような形となっております。次に、こちらが多目的スペースとなっております。多目的スペースは、職員室の隣にあり、学習や実験等、様々な目的で使用が予定されております。こちらが、職員室です。20名以上が入れるような、ある程度余裕を持った造りとなっております。2階の廊下でございます。次に、こちらが教室でございます。教室は2階でございます。27名定員の部屋が4部屋ございます。こちらも別のなっております。こちらが、多目的ホールでございます。100名以上が入れます。入学式や開校記念式典も、ここで行われる予定です。9日（土）の入学説明会も、こちらで行われました。こちらが3階にある特別教室でございます。こちら

も、多目的な利用が考えられております。こちらは、別棟にある保健室でございます。こちらは、別棟の2階にある美術室となっております。別棟には、他に技術室やコンピュータ室もございます。

いよいよ、4月から川口市立芝西中学校陽春分校が開設されます。9日(土)には入学説明会が行われ、65名の入学予定者が参加されました。説明会では、学校生活の説明の後、学生証用の写真撮影が行われました。そんな中でも、説明会に大幅に遅刻する方もいるなど、「時間を守る」「きまりを守る」などの日本の文化を学ぶ必要性も感じられました。入学予定者の中には、杖をついた高齢の方、日本語がほとんど話せない、書けない方、不登校を経験し、自分に自信のない方など、心や体、生活など様々な点でのサポートが必要と感じました。しかしながら、会場の後方に様々な教科書を並べておいたところ、たくさんの方が熱心に見入る様子が見られました。そこから、どの方も学ぶ意欲が溢れていることを感じ取れました。

教育局といたしましては、充実した教育が行われるよう陽春分校を支援するとともに施設・教育内容ともに全国に誇れる夜間中学となるよう鋭意努力してまいり所存でございます。説明は以上でございます。

議長（奥ノ木市長）

ただ今、教育委員会から「川口市立芝西中学校陽春分校の開設準備状況及び次年度以降の計画」について、説明がありましたが、これらについて、ご意見等がありましたら、お願いいたします。

「陽春」というのは、県陽高校の時代から、あの会館を「陽春会館」という名前で使っていて、その名前を残したということです。

また、施設も学校らしい施設に変わっていたし、夜間中学の校舎として使う部分というのは耐震工事もできているところで、学校の施設としては新しく思いました。

皆様からは何かございますか。

中田委員

入学者の状況等について2つお聞きします。1点目は、平成29年くらいの新聞を見ますと「定員120名」とありましたが、80名で進めていたのですか。それともう1つ、資料の4ページを見ると、30代の方が少ないと感じます。というのも、川口市に開設する夜間中学に関するアンケート調査をしているんですけども、その時には30代の方が40.9%回答しているんですけど、実際に入学となると年代的に難しいのですか。

学務課長

まず1点目、「定員が120名」との報道があったことについてですが、ニーズ調査を行った際に「通いたい」、「どちらかといえば通いたい」という前向きな回答をいただいた方が384名おりました。この結果と施設等を勘案して、最大で受け入れられるのが120

名程度と考えていたところでございます。それが、報道等により「定員」としてそこまで募集をしているというニュアンスで取られてしまったというのが我々の感じているところでございます。実際、今回の80名が、陽春分校のキャパシティを考えると、ある程度適切な人数だったかなと考えているところでございます。

2点目につきまして、30代・40代が実際にニーズ調査の人数よりも希望者の中で実際に相当少ない状況についてでございます。実はこちらのニーズ調査は、対象とした人数が一番多かったのが、外国人のお子さんを小中学生に持っている保護者の方です。当然、30代・40代の保護者の方が多いという結論から、回答としていただいたものは、30代・40代がニーズ調査では多かったということです。ただ、実際に入学できるかということ、就労ですとか家事とか様々なことが推測されますが、なかなか入るといふ段階までは難しいという方がいらっしゃるのかなと推測されます。

奥ノ木市長

確かに、30代の方というのは子育て世代も多く、子育てをしながら勉強することは困難でしょう。入学の内訳を見ると女性が圧倒的に多いのは、女性の真面目さが現れていると思います。

菅原委員

入学予定者の状況の表を見たところベトナム、トルコ、パキスタン、ネパール、アフガニスタンと、国籍が多岐に渡っている中で、こういった方たちの中には小学校段階の学習もしていない方もいらっしゃるかもしれませんので、日本語学習の支援をしながらニーズに応じていくというのは、具体的にどのように実施していくのでしょうか。まだ実態が分からないので、予定の段階だと思いますけれども、分かっている範囲で教えてください。

指導課長

夜間中学校の教育課程につきましては、学校教育法施行規則第56条の4及び第132条の5において、「特別な教育課程を編成することができる」というふうになっております。そのため、各教科の内容のうち、学齢経過者の必要に応じて、必要なものを内容とすることができます。また、小学校段階の内容を取り扱うこともできますので、それぞれの国の方々の日本語の習得の状況、また、日本人の方々の習得の状況によって、個別指導であるとか、少人数指導、グループ指導もできると考えております。

菅原委員

実態に応じてグループ指導とかしていただけるということでしょうか。

奥ノ木市長

確かに、色々な国籍の方がいる中で、生徒が全員、日本語で教えられるレベルに達して

いるかどうか、大変だと思いますけれども、きめ細かな指導を行えるようお願いしたい
と思います。

宿谷委員

日本語をほとんど話せない、書けない方がいる。日本語の支援まではよろしいかと思う
のですけれども、それが夜間中学の本来の目的ではなくて、本来はここに来る方はみなさ
ん、勉学に燃えて来るわけで、そちらにばかり特化していると、その兼ね合いはどのよ
うなのか。民間の日本語学校に、自分のお金で時間を使って行っている方もいます。
全国に誇る夜間中学というからには、中学は本来の姿は、全科目において教えるの
が本分だと思いますけれども、日本語学習の支援との兼ね合いはどうお考えですか。

指導課長

教育課程は、それぞれの実態に応じて編成をしていきますけれども、例えば、音楽や技
術、美術などは、やはり言葉の壁はあっても作業していったりする中でできるものもある
と思います。一方で、国語になりますと、それぞれの習得の状況ということもあって、グ
ループの指導が多くなることもあるかと思いますが、教科に関しては全て受けていただく
ということで、それぞれの状況に応じて、わかりやすさとか、ユニバーサルデザイン的な
視点から、それぞれの日本語の習得の実態に応じた授業ができるような形でいきたいと考
えております。

奥ノ木市長

教科書は、みんな日本語の教科書を使用するのですか。

指導課長

教科書は全員、日本語の教科書になり、生徒各々の状況によって、小学校の教科書から
お渡しする方もいます。

奥ノ木市長

日本語の教科書に、母国語の翻訳が書かれているということはしないのですね。

教育長

日本語がまったく理解できない生徒は、教科書指導が難しいので、夜間中学の教員の中
に、日本語指導の資格のある教員を配置します。その職員を配置することによって、日本
語が理解できない生徒に対しては、まず日本語をしっかり教えてから教科に入っていくと
いうような考えで進めていきます。

教科書については、日本の教科書を使用しますが、副教材として様々な言葉が出ている

ものも用意し、そういったもので対応しながら指導していくということになると思います。

学務課長

全員に面接をしております、日本語学校とは違うものである、というお話しはさせていただいております。あくまでも公立の夜間中学ということで、中学の卒業証書を得るということですから、日本語の学習の支援はいたしますが、日本語の学習だけではありませんと、お話しをさせていただいております。やはり公立の中学校ですので、その点につきましては、県の教育委員会と内容を精査しながら、公立の中学校として認められるような内容としております。

齋藤委員

基本的には、生徒が通う年数は3年間なのですか。

指導課長

基本的には3年間ですが、生徒各々の学習の状況や、出席の状況等により、学校長が認めれば1年で卒業ということもありえるということになっております。

齋藤委員

最短1年で、卒業できるということですね。では、逆に何年までいられるのですか。

指導課長

最長6年間です。

奥ノ木市長

挨拶の時に述べさせて頂いたが、私はこの間見学させて頂いたが、校舎はとてもよくできていますね。ただ、築30年くらいの建物で、エレベーターが付いておらず、80歳代の方が生徒として通学するとなると、ちょっと申し訳ないけれど階段の上り下り等に心配はありますが、エレベーターが設置されている学校がそもそも少ないです。

教育長

将来的に新しい校舎が建った時のことですが、元の校舎で学んでいる生徒の中で、外行のタイミングの方から、「この素晴らしい施設で学べるんだったら、もう1年勉強したいな」という生徒が現れるかもしれません。その時、教育委員会としてどうやって対応していくか、考えなくてはいけないなと思います。

奥ノ木市長

本当に、見るからに居心地がいいところだなと、今の校舎でも感じますから、新しい校

舎が完成したら、そういった生徒が出てくるかもしれないですね。

議長（奥ノ木市長）

まだまだ意見交換をしたいところではございますが、時間に限りもございますので、このあたりで終了とさせて頂きたいと思います。

本日意見交換をいたしました内容については、私の考えや思いも述べさせていただきましたので、教育委員会における事業実施の際に検討していただければと思います。

それでは、議事につきましては、これにて終了となりますので、進行を事務局に返します。

事務局（教育総務課長）

奥ノ木市長ありがとうございました。

本日はお忙しいところ会議にご出席いただき、また、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。以上で、平成30年度 第2回川口市総合教育会議を閉会とさせていただきます。